

## 2023 年度実施 研究者交流支援制度実施報告書

招聘研究者：Dr. イングリート・リチャードセン(Ingvild Richardsen)

所属機関：アウグスブルク大学研究助手、ミュンヘン大学講師

招聘期間：2023 年 6 月 6 日～25 日

特別講義：2023 年 6 月 8 日、駿河台校舎、参加者 11 名

(講演タイトル) „Leidenschaftliche Herzen, feurige Seelen“ Wie Frauen um 1900 in München und für Deutschland die Welt veränderten. (「情熱の心、燃える魂」—1900 年前後、ミュンヘンの女性たちがドイツの世の中をどのように変えたか)

本プログラムは本来 2020 年度秋学期に実施予定であったが、コロナ禍による入国制限で長らく延期され、今年になってようやく実現することができた。

イングリート・リチャードセン博士はドイツ・アウグスブルク大学所属で、文化史関係の授業を同大学とミュンヘン大学で担当している。彼女の主要な研究テーマは 19 世紀後半から 20 世紀にかけてミュンヘンを中心とした女性解放運動の歴史、およびナチスに迫害されたユダヤ系女性作家たちの再発見・再評価であり、これらの分野で既に数多くの著作がある。また大学での学術研究と並んで、バイエルン放送局と共同で教養ドキュメンタリー番組の制作にも携わり、ドイツ国内外で開かれる文学関連の展示企画にも責任キュレーターとして参与するなど彼女の活動の幅は広く、雑誌への寄稿や新聞論評を通して一般社会への発信にも積極的である。

招聘滞在中の 6 月 8 日に駿河台校舎で開催した特別講義では、主に 19 世紀の女性運動家 アニータ・アウクスブルクの活動を扱った同タイトルの著書 (『*Leidenschaftliche Herzen, feurige Seelen*』. Wie Frauen die Welt veränderten. S. Fischer, Frankfurt am Main 2019) に基づき、豊富な文献資料や写真スライドを提示しつつ、当時のバイエルン王国における女性解放運動の状況が文化史的な観点から詳細に検証、報告された。アニータ・アウクスブルク (Anita Augspurg 1857-1943) は女優で写真家、女性運動家として啓発活動に努める傍らチューリヒ大学でローザ・ルクセンブルクとともに法律を勉強しドイツ人女性として初の法学博士となった。彼女がミュンヘンで開業した写真館アトリエ・エルヴィラ (Atelier Elvira) は建築家アウグスト・エンデルの設計により、その斬新なデザインで当時ドイツで流行した芸術様式ユーゲントシュティールのシンボリックな建物となる。この写真館はアウクスブルクらの女性啓発活動の拠点となり女性の新しい生活スタイルを提案するとともに、著名な作家や芸術家たちも顧客としてここに入出入りした。この時期のミュンヘンにおける女性運動の大きな特徴は、文化人・知識人サークルを通して男性たちからも幅広い支持と協力を得たことにあるという。当時はまだ女性の政治結社は禁じられていたため、名目上は文化・教育目的で集会や会合が頻繁に開かれ、ドイツ各地の運動家グループとの連携を強めてゆく。女性の権利拡大を求める活動は急速に全国的高まりを見せるが、後に台頭する反動的な国家社

会主義を唱えるナチス党の弾圧により事実上消滅、アウクスブルクらの名前も忘れ去られ、これによるネガティブな影響は戦後のドイツ社会においても長く残ることになった。リチャードセン博士は、当時の女性運動家たちの活動を発掘し再評価することは現在でもなお必要であり責任もあると、情熱を込めて語る。講演後の質疑応答では、参加者は大学院生や学外からの一般参加も含めて十名あまりと多くはなかったものの活発な議論が交わされた。芸術や日本との関係から新しい視点も提示され、続いて行われた有志による懇親会も含めたいへん有意義な意見交換の機会となった。

リチャードセン博士にとって今回が初めての日本訪問であり、滞在期間中は京都や長野方面への旅行、東京では同僚教員の案内で上野や浅草散策、他大学の研究者との情報交流など日々新しい体験があり、全期間を通じて充実した日本滞在となった。明治期に駐在武官として京都にも滞在し、日本研究者としても知られる地政学者カール・ハウスホーファーは、バイエルン南部フラウエンインゼルの芸術家一族ハウスホーファー家の出であり、カール夫妻も含めて一族は全員、当時の女性運動と深い関わりをもった。リチャードセン博士は遺族の委託によりハウスホーファー家の遺稿管理を任されているそうだ。またフランツ・シーボルトもバイエルン生れで、ミュンヘンにも日本関係の資料が保存されている。リチャードセン博士自身、日本とバイエルンとの相互交流というテーマで今後もシンポジウム等を通じて研究協力を深めたいという希望を強く持っており、今後の共同研究につながる貴重なきっかけともなった。

前述の通りこのプログラムは新型コロナの影響により数度わたって延期され、その間、プロジェクト担当者の羽田氏と根岸氏には、突然の中止や変更にもその都度適切に対処してもらった。コロナ禍とはいえ招聘責任者である私の連絡不手際によるところも大きく深く反省している。両氏および再三の延長を認めていただいた国際連携本部のご厚意には心から感謝申し上げたい。

2023年10月6日

政治経済学部専任教授 田村久男



特別講義

## 明治大学主催 研究者交流支援事業

„Leidenschaftliche Herzen, feurige Seelen“  
Wie Frauen um 1900 in München und für Deutschland  
die Welt veränderten.

**2023年 6月8日 木** 17:10~  
18:50

明治大学駿河台キャンパスリバティータワー 1144教室 (14階)  
※講演使用言語はドイツ語。通訳はありません。

講師紹介 Dr. phil. Ingvild Richardsen

【著書】  
Evas Töchter: Münchner Schriftstellerinnen und die moderne  
Frauenbewegung 1894-1933 (Volk 2018)  
»Leidenschaftliche Herzen, feurige Seelen«: Wie Frauen die  
Welt veränderten (S. Fischer 2019)  
Die modernen Frauen des Atelier Elvira: In München und  
Augsburg 1887 – 1908 (Volk 2022)  
Carry Blachvogel "Im Weiß-Blauen Land: Bayerische Bilder"  
(Allitera 2013)  
Grete Weil "Der Weg zur Grenze: Roman" (C.H.Beck 2022) etc.

ベルリン・プレヒトハウスで文学フォーラム  
(2023年4月25日 歴史学者ヴォルフガング・ベンツ氏と対談)

アウグスブルク大学学術研究員、ミュンヘン大学講師  
ドイツ・バイエルン放送番組製作、文学学術展示等の企画責  
任者など、幅広い顔を持つリチャードセン先生の対談動画は  
QRコードを読み取ってご覧ください。





お問い合わせ

政治経済学部 田村久男 専任教授  
hisao@meiji.ac.jp